



第2章 基本構想

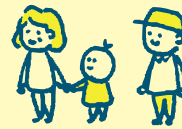
総合計画がめざすまちの将来像や取り組み目標といった
今後10年間の方向性などをまとめています



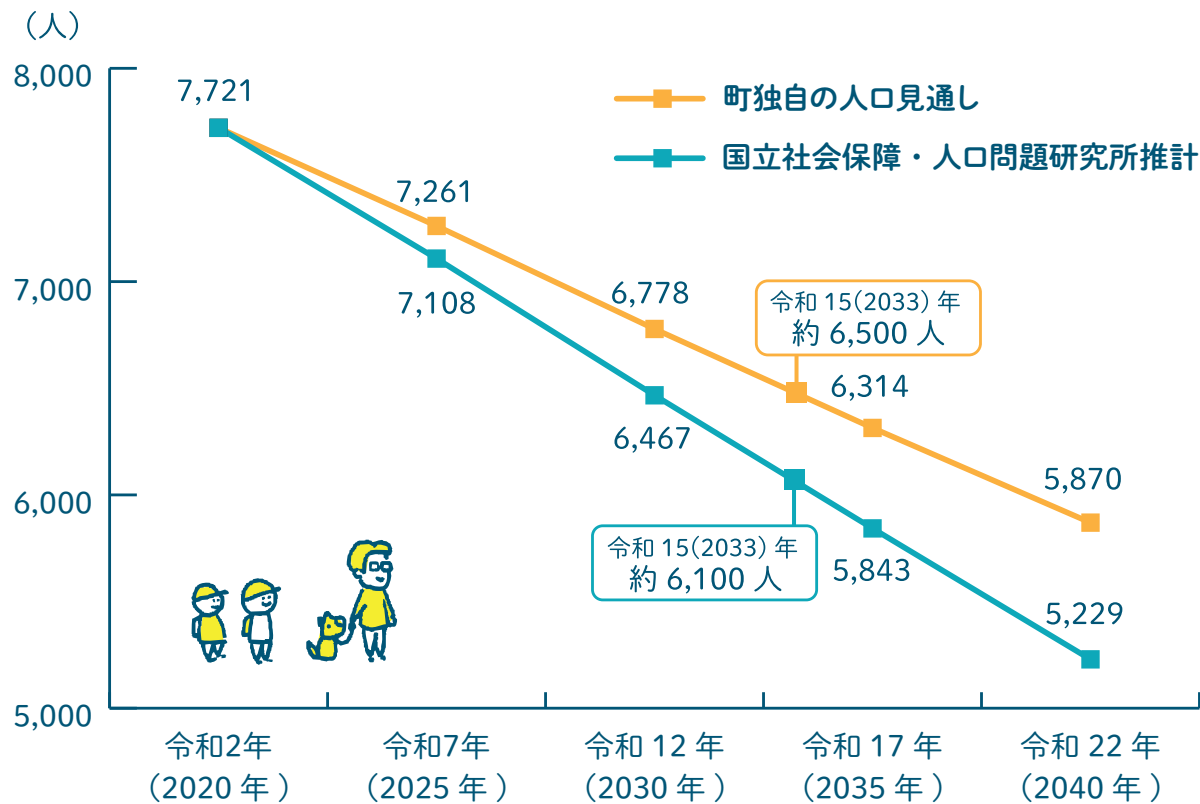
1 10年後の人口目標

令和15(2033)年の人口目標

6,500人



令和2(2020)年を基準とした国立社会保障・人口問題研究所の人口推計では、令和12(2030)年の人口は6,467人になると見込まれています。この推計を基準として、今後10年間の総合計画の取り組みによる社会減の緩和や出生率の上昇などの効果を考慮し、町独自の令和15(2033)年の人口目標を6,500人とします。



用語解説

国立社会保障・人口問題研究所

医療や介護、子育て支援など、すべての人の生活を支える「社会保障制度」や日本の人口の推移を研究している機関。人口推計では、全国の出生や死亡、人口の移動状況などをもとに、将来の日本の人口や性別・年齢別の構成などを推計している。

2 まちの将来像と基本理念

第6次東彼杵町総合計画では、足並みをそろえて取り組みを進めていくために、まちが将来にわたってめざす方向としての「まちの将来像」、10年間の取り組みを進めていくための共通の考え方である「基本理念」、そして、取り組みの内容を3つに分類しそれぞれのめざす方向性を定めた「2033年のひと・まちの姿」を設定します。

まちの将来像

まちづくりを進めていくにあたって、東彼杵町がめざしていく普遍的な姿として設定します。10年間の取り組みだけで達成・実現させるものではなく、東彼杵町が何年たってもめざしていくべき目標です。

基本理念

町民、行政、地域が一丸となって総合計画の取り組みを進めるために、共通して心にとどめておくキャッチコピーです。

2033年のひと・まちの姿

総合計画の内容を分類し、取り組みをより実効的にしていくため、序論でまとめた10年後のために必要なことをもとに、まちの将来像を3つの姿に分けたものです。



3 まちの将来像



小さくても、

誇りを持って

輝くまち



第5次東彼杵町総合計画で設定された将来像、「小さくても、誇りを持って輝くまち」には、東彼杵町が将来にわたって大切にすべきまちづくりの思いが込められています。今後、変化し続ける社会情勢の中でも、東彼杵町がめざしていく姿は「小さくても、誇りを持って輝くまち」であることに変わりはありません。第6次東彼杵町総合計画においてもこの将来像を引き継ぎ、これまでの取り組みを基礎としながらも、新たな取り組みに挑戦していきます。

まちの将来像に込めた3つの思い

一人ひとりを大切に する思い

人口約 7,500 人ならではの一人ひとりの顔が見える関係性の中で、ともに努力する“あなた”思いのまちづくり

未来に向かって 挑戦し続ける 思い

新たなことにも積極的に挑戦し、自分たちの生活を、まちの未来をよりよい方向に磨き上げるまちづくり

東彼杵町らしさを 大切に する思い

これまで培った歴史・文化・営みを大切にし、「東彼杵らしさ」を忘れることなく、他市町に埋もれない独自性を活かしたまちづくり

4 基本理念



ずっと

暮らし続けたい

まちづくり

～こどもたちの笑顔のために～



第5次東彼杵町総合計画のもとで、様々な取り組みが進められ、今、東彼杵町は、多くの方が「ずっと暮らし続けたい」と感じるまちへと成長しています。

しかし、これからの 10 年間で東彼杵町が直面する未来は、これまで以上に厳しく、そして思っている以上にあっという間に過ぎてしまいます。

今、私たちが感じている「ずっと暮らし続けたい」気持ちを 10 年後も思えるように、また、未来を担うこどもたちへと東彼杵町の未来をつなげていけるように、私たち全員がまちのこれからをともに考え、課題を乗り越え、今あるものを大切に守り、新たなことに挑戦していくことで、未来に向かって1歩ずつ前に進んでいくことが大切ではないでしょうか。

これらのことから「小さくても、誇りを持って輝くまち」に向かって新たな1歩を踏み出す、挑戦の 10 年間となるこの計画の基本理念を「ずっと暮らし続けたいまちづくり～こどもたちの笑顔のために～」としました。

5 2033年のひと・まちの姿

令和15(2033)年に向けて総合計画は取り組みを進めます。進めるうえで、序論でまとめた10年後のために必要なことをもとに「2033年のひと・まちの姿」を設定します。

暮らしや営みを守る取り組みが必要

ひと・まちの姿1

快適な暮らしにぎわうまち

- 誰もが安全・安心に暮らせる生活基盤を整備し、住み心地のよいまちで誰もが豊かに暮らしています。
- まちの特徴を最大限に活かした持続可能な産業が地域で活性化し、にぎわいと活気のあるまちになっています。
- 豊かな自然や環境を守り、快適な都市基盤をつくることで、東彼杵町らしい美しい風景や景観が維持されています。

関連分野 **産業** **自然環境** **都市基盤** **生活環境**

心と文化を育む取り組みが必要

ひと・まちの姿2

豊かなこころ 温かいまち

- 一人ひとりを大切にされた教育環境の中で、こどもたちをはじめ誰もが夢や希望を持って心豊かに成長しています。
- 町民誰もが支え合いの心を持ち、いつまでも安心して暮らせる福祉のまちになっています。

関連分野 **保健** **医療** **福祉** **教育** **文化** **スポーツ** **共生** **協働**

人と人、まちの未来をつなぐ取り組みが必要

ひと・まちの姿3

つながるひと 持続するまち

- 様々なコミュニティの中でつながりやふれあいが生まれ、町内外での交流が活発なまちになっています。
- 町民に寄り添った行政サービスを将来にわたって持続することができるまちになっています。

関連分野 **交流** **移住** **定住** **行財政**

6 まちづくりの分野共通の考え方

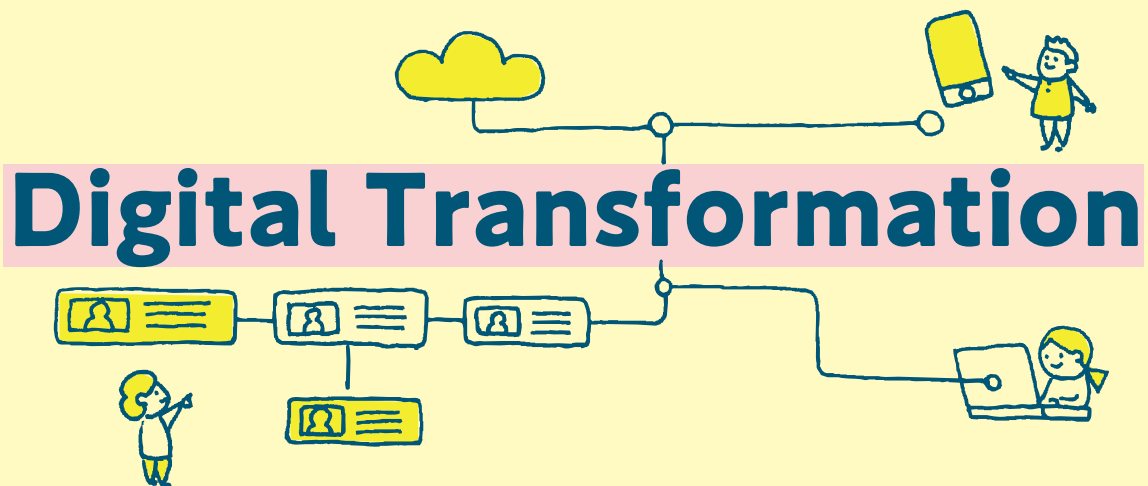
SDGsの推進

SDGsとは、平成27(2015)年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されている、令和12(2030)年までに持続可能でよりよい世界をめざすための国際的な目標です。SDGsは17のゴールと169のターゲットから構成されており、地球上の「誰一人取り残さない」ことを宣言しています。

SDGsは世界中の国だけではなく、県や市町村など地域においても自分ごととして取り組んでいく必要があります。本計画においても、SDGsの理念を踏まえながら、取り組みと関連付けることで、持続可能なまちづくりを推進していきます。

<p>1 貧困をなくそう あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう 各国内及び各国間の不平等を是正する。</p>
<p>2 飢餓をゼロに 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。</p>
<p>3 すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。</p>	<p>12 つくる責任つかう責任 持続可能な生産消費形態を確保する。</p>
<p>4 質の高い教育をみんなに すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。</p>	<p>13 気候変動に具体的な対策を 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。</p>
<p>5 ジェンダー平等を実現しよう ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。</p>
<p>6 安全な水とトイレを世界中に すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。</p>	<p>15 陸の豊かさも守ろう 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。</p>
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。</p>	<p>16 平和と公正をすべての人に 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。</p>
<p>8 働きがいも経済成長も 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。</p>	<p>17 パートナリシップで目標を達成しよう 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。</p>
<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。</p>	

DX の推進



AI や IoT などの先端技術が浸透していく中、それらを有効に活用し人々の生活をよりよい方向に変化させていく DX の推進が全国的に求められています。人口減少が進む東彼杵町においても、限られた職員数で行政サービスを維持し、行政業務を効率よく運営していくためには、デジタル化の推進を念頭において取り組んでいく必要があります。

DX の推進は、まちづくりにおける様々な分野で念頭において取り組む必要があることから、まちづくりの分野共通の考え方として設定し、行政サービスの改革と利便性の向上に取り組めます。

用語解説

IoT

Internet of Things の略で「モノのインターネット」の意味。家電や車、工場の製造ラインなどの様々な「モノ」をインターネットに接続し、離れている場所から操作をしたり、状況を確認したりすることができる技術。

